

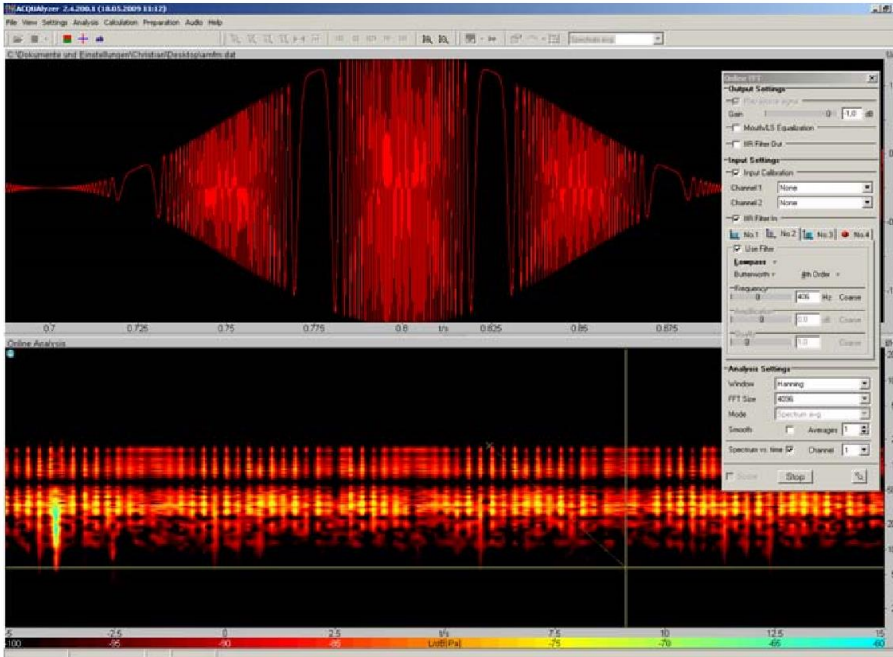
ACOPT 19 (Code 6842) オンライン分析

概要

ACOPT 19 “オンライン分析” は高度通信品質分析システム ACQUA 用のライセンスオプションです。

いろいろな測定条件のもとで信号を再生しながら同時にリアルタイム分析機能が利用可能になります。

- ・オンライン FFT : 伝送周波数特性分析
- ・オンライン歪 : 歪特性分析



“オンライン FFT” による AM/FM 変調信号の再生分析例

説明

ACOPT 19 ライセンスキーにより、いろいろな測定条件のもとで信号を再生しながら同時にリアルタイム分析を行うことができる ACQUAlyzer の 2つの機能が利用可能になります。(例として、周波数により異なるエコーキャンセラーの収束のしかたを分析したり、耳への押しつけ力を変えた場合のハンドセットと疑似耳のあいだの伝達関数を分析できます。)

・**オンライン FFT** : 生成した任意の信号を連続再生し時間領域や周波数領域の分析が可能です。例として、通信端末の DSP をチューニングしながらテスト対象デバイスの特性をリアルタイムで、測定ディスクリプターを起動せずに分析することができます。さらに、入力または出力にオンライン IIR フィルターを適用することも可能です。

・**オンライン歪** : 信号処理の数値フォーマットを変更しながら歪の限界や収束の問題を分析するのに適しています。飽和特性分析にも利用可能です。

パラメーター

オンライン分析ごとに設定できるパラメーター :

・オンライン FFT :

出力設定 :

- ソース信号再生、ゲイン調整可、マウス/LSイコライゼーションと最大 4つの IIR フィルター利用可

入力設定 :

- チャンネル1/チャンネル2 : チャンネルごとの校正値 (既定値) 選択

IIR フィルター In :

- 入力用最大4つの IIR フィルター分析設定 :
 - 窓関数の選択
 - FFT サイズ / ブロックサイズの選択
 - モード : 分析メソッドの選択
 - スムージング機能の有効化/無効化
 - 平均化の為の回数設定
 - スペクトル vs 時間表示
 - 時刻歴信号表示

・オンライン歪 :

設定 :

- レベル
- 周波数
- マウス/LSイコライゼーション
- 歪 : 分析タイプ選択 (第3高調波、全高調波、偶数高調波、奇数高調波、全歪、全歪 (0.132)、n高調波、Rub & Buzz)

さらに下記のパラメーター

設定が可能 :

- 高調波数
- dB 重み付け
- 周波数レンジ

歪 :

- チャンネル1 / チャンネル2 の歪値表示 (% or dB)

システム要件

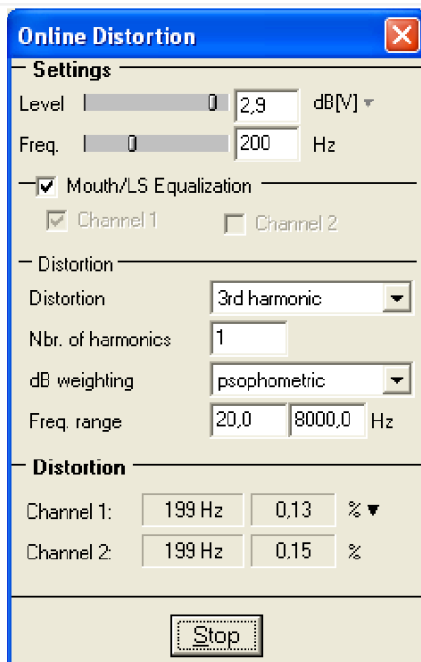
ACOPT 19 には下記のシステムコンポーネントが必要です：

- ・ACQUA (Code 6810) またはACQUA Compact (Code 6860.xx, etc.)

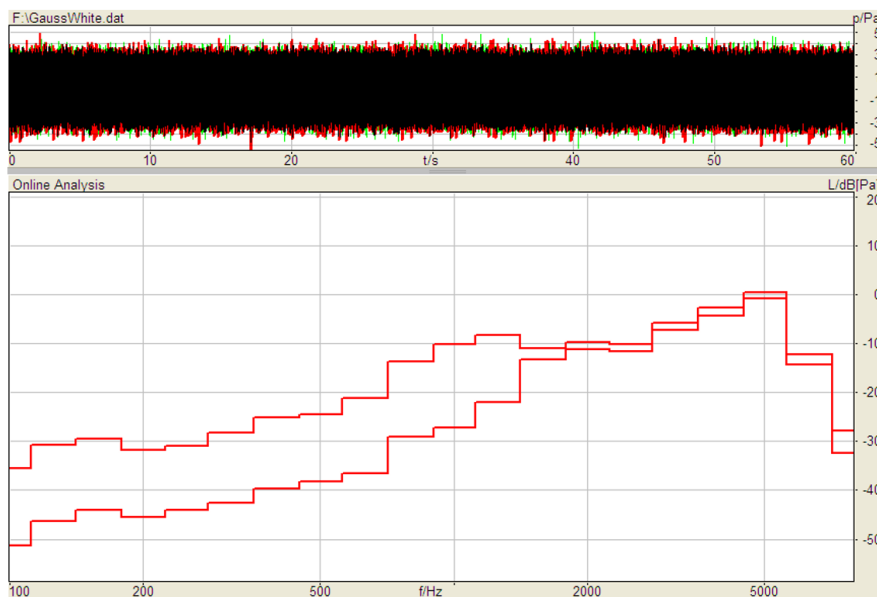
※ACQUA のソフトウェア保守契約が有効期間内である必要があります。

納品アイテム

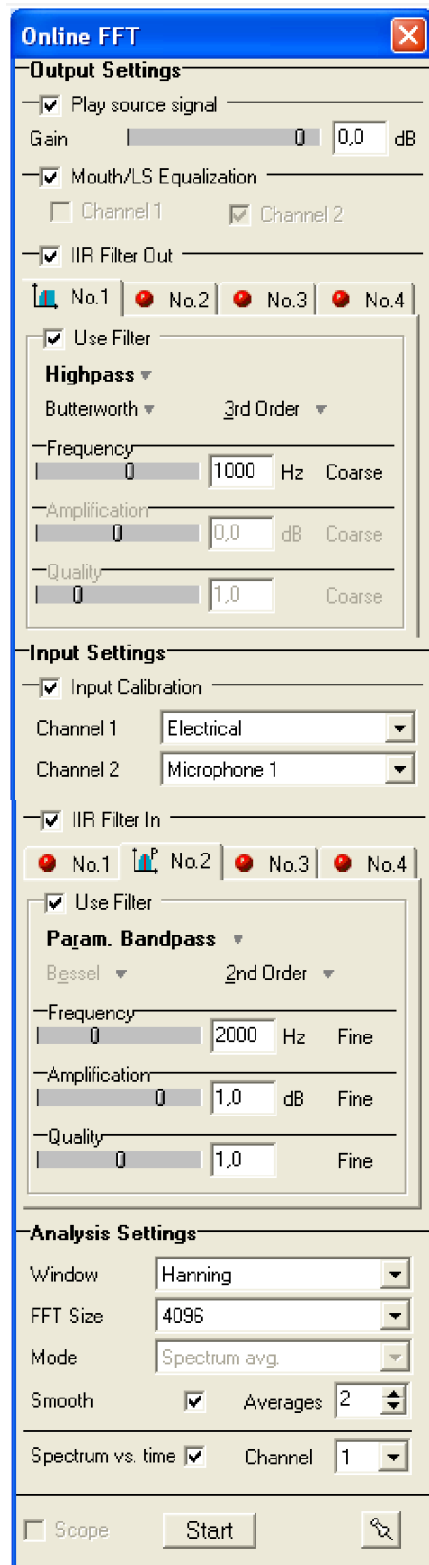
ACOPT 19 ライセンスキー



“オンライン歪” 設定画面の例



“オンライン FFT” による ガウスホワイトノイズ再生分析例 — 2 種類の耳への押しつけ力によるハンドセットの周波数特性



“オンライン FFT” 設定画面の例